

平成24年12月10日

報道発表資料

JICA「ラオス国水道公社事業管理能力向上プロジェクト」への職員派遣について

本市では、本年5月に「上下水道分野における国際展開の実施方針」を策定し、「官民連携による国際展開」と「技術協力による国際貢献」を通じ世界の水環境改善への貢献を目指しております。

この度、「技術協力による国際貢献」の一環として、独立行政法人国際協力機構（JICA）がラオスで実施する「ラオス国水道公社事業管理能力向上プロジェクト」に対し、次のとおり上下水道局職員を短期専門家として派遣し、ラオスの水環境改善への貢献を目指します。

- 1 派遣先 ラオス人民民主共和国 ビエンチャン市 ほか
- 2 派遣人数 上下水道局水道部所属の技術職員2名
- 3 派遣期間 平成24年12月10日～平成25年1月25日（1名）
平成25年1月21日～平成25年3月8日（1名）
- 4 技術指導内容 ラオスの水道公社における水道管網データ整備

○ 資料 ラオスについて

JICA「ラオス国水道公社事業管理能力向上プロジェクト」について

川崎市上下水道局経営管理部経営企画課

電話 044-200-3739

FAX: 044-200-3982

ラオスについて

<基本概要>

ラオスは、中国、ミャンマー、タイ、カンボジア及びベトナムの5か国と国境を接する内陸国であり、人口約630万人（2011年）、面積約24万平方キロメートルで、メコン川が国内を南北に流れています。

1986年に改革開放路線を採択し、現在の経済成長率は約8.3%（2011年、IMF推定値）となっており、主な輸出品目は電力や木材、コーヒーとなっています。

首都はビエンチャン市で、人口は約80万人（2011年）、政治・経済の中心であり、日系企業も約60社が進出しています。



JICA「ラオス国水道公社事業管理能力向上プロジェクト」について

本プロジェクトは、ラオス国の水道普及率向上に向けて、水道の事業主体である水道公社の中長期的視野に基づく事業管理能力を強化するため、3つのパイロット水道公社（首都ビエンチャン水道公社、ルアンプラバン県水道公社及びカムアン県水道公社）において、データの整備や長期・中期・短期事業計画の策定支援とその実施を行い、



ビエンチャン・チナイモ浄水場

その成果を活かしながら全国の水道公社への展開を図ると共に、国における事業モニタリングの能力強化を図る2017年度までの5年間のプロジェクトです。

本プロジェクトに短期専門家として派遣される川崎市職員の活動としては、配給水管網図整備支援、老朽度分析、管網計算による配給水管網の水利分析指導等が予定されています。

また、本プロジェクトには川崎市のほか、さいたま市及び埼玉県から職員が派遣されています。